１１月学年団だより

香川県立高松北中学校３年団

2026. 11. 2

家の近所にたくさんの彼岸花が咲く場所がいくつかあります。あたりまえのように、秋分の日頃に自然に咲いていた彼岸花でしたが、今年は10月に入って、少し気温が下がってから咲き始めたように思います。やっぱり今年は暑かったんだなと感じさせられました。気候の変化だけでなく、子どもたちを取り巻く社会も変化していっています。私たちは、スマートフォンで日々たくさんの情報を目にしています。言葉を入れて検索すると、本当にたくさんの情報が出てきます。AIの進化に伴い、私たちの生活もずいぶん快適で豊かになりました。出てきた情報はすべてが正しいわけではないかもしれません。見極める目が必要になってきます。そして、それは学習で得た知識によるところが大きいように思います。

先日の個人懇談会で、それぞれの子どもたちは、北中卒業後の進路に向けて意思決定をしました。義務教育を終わらせ、自分自身の道に向かって歩き出すための第１歩となります。どのような選択をしようとも、学習は中学３年生で終了ではありません。将来の自分の目標に向け、日々確実に歩みを進めてほしいと思います。今月行われる第４回の「学習の診断」や２学期末テストで、2026年のテストは終了します。第５回の「学習の診断」は、年明け１月６日（水）に予定されています。体調に気をつけ、日々の丁寧な復習の積み重ねで確実に学力をつけてほしいと思います。

１【キャリア教育】「高校生活に向けての準備をしよう」

自分の進路を決めようとしている今、何をどのように準備していかなければならないかを確認しました。現在の自分を振り返り、「社会に出た自分」→「高校卒業後の自分」→「高校入学時の自分」をイメージし、「今やっておかなければいけないことは何か」を順を追って考えてもらいました。高校生活へのよりよい接続ができるようにするためです。北高進路指導主任の大石先生が、「なぜ勉強しなくてはいけないのか」や「今するべきことは何か」について、**「未来の自分への作戦シート」**と題してお話してくださいました。大石先生の話は具体的で、生徒たちはとても刺激を受けたようです。

～大石先生のお話より～

個々が自分の課題に立ち向かうことで、全体として前向きな雰囲気ができてくる。集団として取り組むことの大切さが生かされる。学校に来る意味はそこにある。これから１０年後、今ある職業がそのまま残っているとは限らない。AIにとって代わる仕事も絶対にたくさんでてくる。だからこそ、できるだけ多くのカード（将来の選択肢）をもっておかなければならない。これからの社会に必要とされている「自ら問いをたて、行動できる人」になるためにも、今は勉強をしておくことが必要である。やらされるのではなく、勉強する意味を理解し、主体的に取り組んでいく姿勢が望まれる。自分が選んだ道ならすべて「正解」だが、「こんなはずではなかった」とミスマッチにならないように、周りに助言を求めることも必要だろう。

大学受験や就職面接で必ず聞かれる質問、「あなたが一番エネルギーを注いで、壁を乗り越えた経験は何ですか。」これにあなたは何と答えるだろうか。その答えをこれから作っていこう。





分かりやすくお話してくださった大石先生



生徒たちも真剣に聞いていました

２「学習の診断」第４回と２学期末テスト

11月10日（火）に第4回「学習の診断」が、18日（水）～20（金）が2学期末テストとなっています。範囲になっているワーク類は、何回か解き直しができるように計画的に取り組んでほしいと思います。3年前、北中高の生徒何人かで京都大学キャンパスツアーに行ったときのことです。キャンパス内を案内してくれた京大生の言葉がとても印象に残っています。その言葉を紹介します。

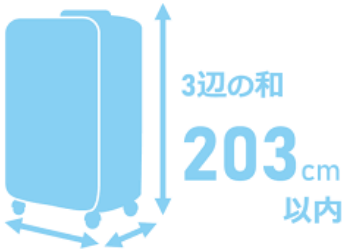
「私は高校２年生のときにキャンパスツアーでここ（京都大学）に来ました。学校や説明をしてくれた学生の雰囲気がよかったので、ここを受験しようと決めました。決めてから毎日10時間は勉強しましたが、やはり何といっても、量より質が大切です。具体的な目標を設定しておくと、頑張りやすいかもしれません。何事においても諦めず、自分の意志を貫いてほしいと思います。」

今月はテストが続きますが、２つとも自分の将来につながっていく大切なテストです。諦めず頑張りましょう。中学校生活で９教科のテストは、今回がラストになります。苦手な教科こそ、特に時間をかけて取り組んでほしいと思います。

11 月 18 日（水）			11 月 19 日（木）			11 月 20 日（金）		
①国語	②数学	③技家	①英語	②音楽	③美術	①保体	②理科	③社会

３　修学旅行

修学旅行が来月にせまってきました。今月４日には、修学旅行に必要な荷物のリストを渡します。少しずつ準備をしていってもらいたいと思います。持ち物に関しての質問を受けたのですが、大きい旅行用のかばんはスーツケースでもかまいません。自宅にあるスーツケースで結構です。ANAの規定によれば、預かってくれるスーツケースは３辺（縦、横、高さ）の合計が203cm以内、重さ20kgまでだそうです。



旅行の最終日は那覇空港で解散式をしますので、バスで学校まで帰らなくても、お家の方に津田SAに迎えに来ていただき、そこで帰ることもできます。本日そのプリントも配付していますので、その返信でどうするかご回答ください。また、学校に迎えに来たときの駐車場としては、通常の牟礼体育館北側をご使用ください。混み合うと思いますので、駐車場に車を置いて校内で具体的に合う場所をお子さんと話しておいてください。よろしくお願いします。